

平成25年度予算の要求について(ポイント)

◎ 約103億円の財源不足が見込まれ、依然として厳しい財政環境が継続

- 17年度予算編成前の段階で約400億円と見込まれた財源不足について、職員数の削減や給与の臨時的減額、公の施設の見直し、マイナスシーリングの設定による事務事業の見直しなど、徹底した行財政改革により、24年度予算編成後の段階で約65億円まで圧縮。
- 25年度については、国の「財政運営戦略」において、地方交付税を含めた基礎的財政収支対象経費に上限が設けられるなど一般財源総額の伸びは期待できない一方で、公債費や福祉・医療などの義務的経費が高い水準で推移するため、現時点で約103億円の財源不足が見込まれ、依然として厳しい状況。

- ◎ 引き続きマイナスシーリングを設定し、ゼロベースの見直しによる財政健全化の努力を継続
- ◎ 北陸新幹線の開業効果を最大限に高めるため、観光の振興や交流の促進、産業・経済の活性化、賑わいの創出につながる施策を積極的に推進
- ◎ 「新・元気とやま創造計画」の政策目標を着実に推進し、富山県の発展基盤となる社会資本整備や県民福祉の向上につながる施策を戦略的に展開

※ 予算要求基準

○ 重点施策経費

① 「新幹線開業対策枠」・・・要求枠を設けない

北陸新幹線の開業効果を最大限に高めるための事業は、最優先で取り組む必要があり、別枠で要求

② 「新・元気とやま創造戦略枠」・・・事業費で概ね25億円

新・元気とやま創造計画で定めた5つの重点戦略と重要政策「人づくり」につながる施策を戦略的に展開できるよう配慮

③ 「水と緑の森づくり」枠

「森づくり条例」の趣旨に鑑み、「森づくりプラン」に即した緊要度が高く優先的に実施する必要がある事業について、「水と緑の森づくり税」の収入見込額の範囲内で要求

○ 投資的経費

今後、明らかになる国の予算、地方財政計画等を踏まえ、予算編成過程で決定

○ 一般行政経費(②4特別枠経費含む) △20%

・ 県単独補助金 △ 2%